

## 能力開発研修「教職員のかかわる力を高める実践講座」(11/5)

～子どもや保護者への対応にお困りの方、よりよくしたい方へ～  
～若手教職員へのよりよい支援をお考えの方へ～

11月5日(金)に、能力開発研修「教職員のかかわる力を高める実践講座」を行いました。本講座は平成26年度から継続して実施している、生徒指導・教育相談にかかわる能力開発研修です。

私たち教職員は日々の学校生活のなかで、子ども・保護者・同僚などさまざまな人とかかわりをもちながら過ごしています。相手とよい関係を築いていきたいという思いは誰しもがもっているものですが、それでも時として、相手との思いの行き違いや予期せぬことは起こり得るものではないでしょうか。本講座では丸1日じっくり時間をかけて、学校におけるさまざまな「人とのかかわり」をテーマに、小グループに分かれての体験的な研修を行いました。日頃の自分の思い、気にかかっている相手(子ども・保護者・同僚等)の思い等について、それぞれのグループごとに、ゆったりと時間をかけて見つめる時間となりました。

受講者の皆さんの感想を紹介します。 ※感想末尾の( )は受講者の所属校種です。

ロールプレイを体験し、気持ち様がゆれ動くことを久しぶりにじっくり感じる事ができた。

(小学校)

参加者一人一人の存在を温かく認めてくださり、とても居心地良く感じた。明日から新しい気持ちで頑張れそう。

(中学校)



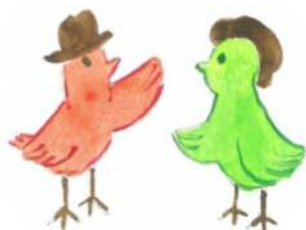
実際に経験した出来事をもとにロールプレイを行ったので、対応の仕方に新しい切り口が発見できた。

(特別支援学校)

体験的な活動やペアでの意見交換などもでき、楽しく学ぶことができた。こうした研修が増えるといいなと感じる。

(小学校)

安心の確保された雰囲気の中で、場面を具体的にイメージしながら、様々な意見や考えを聞くことができ有意義だった。(高等学校)



自分の対応の仕方ですぐに相手が多様な気持ちになるか感じることができた。「人の気持ちを考えて」と簡単に言うが実は難しい。(中学校)

子どもの立場になってみても気づきが多くあった。相手の立場になって考えることの大切さを改めて感じた。(特別支援学校)

日常のかかわりを大切に、小さな変化に気づける自分でありたい。「かかわりたい」と思われる存在をめざしたい。(小学校)

普段の関わりに慣れてしまっている面もあるが、日常の1秒1秒の関わりを大切にしていけばいいと感じた。(中学校)

